

第4学年「外国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○音楽やゲームによる言語活動やALTとの会話のやり取りに関心を持ち、意欲的に取り組む児童が多い。
○チャンツなどリズムよく英単語を発声することを楽しんで取り組む児童が多い。

課題 ▼外国語の発音に苦手意識のある児童もいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。
- ◇ 身近な事柄について、話したり聞いたりして伝え合うための素地を養う。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- チャンツや歌の活動を取り入れることで、単元の基本表現について自信をもって発音し、積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。

言語活動の工夫

- 言語活動において、楽しみながら自分のことを伝えたり、友達の考えを聞いたりするなど、外国語による伝え合う力を高めるためにカルタやビンゴ大会などゲームによる活動を取り入れる。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を用いて、発音と絵をリンクさせて覚えやすいようにする。

課題解決力育成の工夫

- コミュニケーションの場面や目的を整理しながら表現を示すことで、コミュニケーションの状況に応じて、自分の考えを整理し、表現できるようにする。

達成目標

- 外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。
- 外国語やその背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語を用いる。